

Y06b

火星観測週間／マーズウィークのWEB制作と公開

渡部義弥（大阪市立科学館）、時政典孝（西はりま天文台）、小野夏子（板橋区立教育科学館）、青木哲郎（CRL）、川崎寿則（日立シビックセンター）、坂内敦（マイコン計測工業）、佐藤光一郎（岡山県立備前東高校）、鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高校）、高橋真理子（山梨県立科学館）、立川崇之（早大理工）、鶴浜義治（つるちゃんのプラネタリウム）、寺園淳也（月探査ステーション/JAXA）、戸田博之、並木光男（アット・ニフティ/スペースフォーラム）、友野大悟（MPE）、福原直人（星が好きな人のための新着情報）、藤原貴生（竜天天文台）、向野都子（日本プラネタリウム協会）、安田岳志（姫路市星の子館）、山田竜也（宇宙作家クラブ）、吉川真（JAXA）ほかマーズウィークWEBチーム

2003年8月27日に大接近した火星は市民の関心をよび、火星情報へのニーズを生んだ。そこで我々は、火星観

測週間／マーズウィーク実行委員会の発案と呼びかけに応え、7月25日～11月30日まで火星大接近のポータルサイト「kaseiweek.net」を立ち上げ、運用を行った。特筆すべきは、運用メンバーが、研究者、広報担当者、学

校、科学館等の教育者、アマチュア天文家、インターネット技術者、市民ボランティアも巻き込んだ混成部隊で行ったこと。また、それにより様々なアイデアと技術を使い、多様なニーズに応えうるページ構成をわずかな期間につくり、トップページのみで45万件のアクセスを得、インターネット業界でも、Web of the Year（日本版）の話題賞ベスト10に取り上げられる高い評価を受けたことがあげられる。本発表ではWEBの実際の制作と運用

について述べ、今後の同様な試みへの参考になることを望みたい。